

三春南東北リハビリテーション・ ケアセンター利用開始

6月21日、町内山田地区内に脳神経疾患研究所（理事長・渡辺一夫）が建設を進めていました「三春南東北リハビリテーション・ケアセンター」が完成し、落成式が執り行われました。

当日の落成祝賀会では、鈴木町長が「待ちに待った施設が完成し、大変喜ばしいことです。町民の健康・福祉の増進に大いに活用されることを期待します。」と祝辞を述べ竣工を祝いました。

当施設は、介護老人保健施設（定員100床）としての入所施設のほか、通所リハビリテーション施設（定員20名）を併設しており、7月1日から事業を開始しています。

▼問 61・2511



町長あいさつ



リハビリテーション・ケアセンター外観

花いっぱい運動実施

御木沢小学校

7月16日、御木沢小学校ポラントピア委員会のみなさんから、プランターをお預かりしました。プランターは、9月下旬まで役場前に設置されています。

委員のみなさんは、「花いっぱい運動」の一環として、町を花で飾るために、花を種から育て、土づくりにも取り組んでいます。



委員のみなさん

東北大会出場お めでとう！

7月に行われた県大会で次の成績を収めた方々は、東北大会に出場となります。（敬称略）

- ▼陸上共通3、000m
- ③佐藤和仁（三春中）
- ▼ソフトテニス女子個人
- ②増子裕香・君塚麻里（三春中）

「つくしの会」 ボランティア

今年も、障がい者サークル「つくしの会」のみなさんが機能訓練事業の一環として、保健センターに七夕飾りを作ってくださいました。

来館者が短冊に願い事を書いて飾っています。ありがとうございます。



「つくしの会」のみなさん

でんこう 田舎でダンス

★雨の予報を吹き飛ばした！「ミラクル校内体育大会」

7月7・8日、校内体育大会を実施しました。競技は、サッカーやリレー、バスケットボールなど7種目にわたり、学年の枠を取り払い、HR対抗のトーナメント方式で行われました。生徒たちはクラスごとに揃いのTシャツなどを着用して、好プレー続出の白熱した試合を展開しました。両日も雨の予報がでていたにもかかわらず、雨に降られることもなく、生徒たちの若さあふれるチャンピオンシップや澆刺としたフレンドシップが、梅雨空をも吹き飛ばす「ミラクル」を起こしたのではないかと評された大会でした。



熱戦！／バスケットボール

★プレイステーションを分解（学力向上推進プラン事業）

今年度の「学力向上推進プラン」事業の一つとして、進路意識の啓発などを行う各種事業を展開しています。

先日は、会津大の奥山祐市准教授を招き、1年進学クラスの生徒を対象に講話がもたれました。先生は、助手の方に実際にプレイステーションを分解させ、中の構造や機能について説明し、再び組み立てて実施したゴルフゲームでは、飛ぶ玉の軌道や衣服の揺れも物理の計算式に則って作られていることを平易に語られました。生徒たちからは「理系への興味が湧いた」といった感想が寄せられました。



プレイステーションの基盤